



2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月12日

上場会社名 株式会社グッドパッチ 上場取引所 東
 コード番号 7351 URL https://goodpatch.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 尚史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 槇島 俊幸 (TEL) 03(6416)9238
 四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第1四半期の連結業績(2023年9月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	1,024	20.7	△28	-	△29	-	△30	-
2023年8月期第1四半期	848	△13.3	△34	-	△32	-	△13	-

(注) 包括利益 2024年8月期第1四半期 △30百万円(-%) 2023年8月期第1四半期 △13百万円(-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	△3.29	-
2023年8月期第1四半期	△1.61	-

(注) 2024年8月期第1四半期及び2023年8月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第1四半期	4,461	3,916	87.4
2023年8月期	4,671	3,943	84.1

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 3,901百万円 2023年8月期 3,929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年8月期	-	-	-	-	-
2024年8月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,754	21.0	405	35.6	404	35.1	243	12.5	26.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年8月期1Q	9,163,380株	2023年8月期	9,150,380株
② 期末自己株式数	2024年8月期1Q	1,305株	2023年8月期	1,261株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年8月期1Q	9,156,363株	2023年8月期1Q	8,360,797株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢の影響などによる原材料価格の高騰に加え、世界的なインフレの進行リスクに対応した政策金利の引き上げなど、依然として先行きの不透明な状況が続いております。日本経済においては、インバウンド需要の増加や、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する影響の緩和により社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復の兆しがみられておりますが、円安による輸入価格の高騰が国内物価を上昇させる懸念等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。加えて、日本企業は、グローバル化、戦略実現のスピードアップ、イノベーション創発、企業間連携の促進、生産性の向上、また、それらを実現するためのテクノロジーの活用といったテーマに直面し、激しく変化する市場環境における経営のあり方そのものの見直しを迫られております。

特に大手企業を中心に、デジタルの力で新規事業やビジネスモデルの変革を行うことを余儀なくされており、デジタルトランスフォーメーション(DX)(注1)に強い関心が寄せられ、既存のビジネスモデルや業界構造を大きく変化させる新たなデジタル化の流れに注目が集まっております。企業はユーザーにより高い付加価値を提供するため、クラウド等のプラットフォーム、スマートフォンやIoT等の新たなデバイス、AIやブロックチェーン等の新たなテクノロジーを組み合わせたプロダクトやサービスの開発に取り組んでおります。そして、これらデジタル技術を活用した取り組みは、従来のビジネスモデルや業界構造を大きく変化させる可能性があります。

このような事業環境の中で、当社グループは「ハートを揺さぶるデザインで世界を前進させる」というビジョンのもと、「デザインの力を証明する」というミッションを掲げて、「デザイン」を通じて人々の生活がより便利になり、より暮らしやすくなることを目指し事業活動を推進してきました。主要事業であるデザインパートナー事業においては、当社の強みである戦略デザインやUI/UXデザイン(注2)と、連結子会社である株式会社スタジオディテイルズの強みである質の高いクリエイティブとブランディングを融合し、顧客企業のさらなる期待に応えられるよう、デザイン支援の提供を行ってまいりました。また、自社サービスである「ReDesigner」、「Strap」、「Prott」などのプロダクトで構成されるデザインプラットフォーム事業においては、デザインパートナー事業で培ったノウハウやブランドを有効活用することに注力しながら推進してまいりました。

なお、当第1四半期連結累計期間において、デザイン支援の顧客企業数が伸長する一方で、中長期の成長を企図し、人材採用の強化及びマーケティング投資等を積極的に実施したことにより、営業損失となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,024,444千円(前年同期比20.7%増)、営業損失は28,307千円(前年同期は34,123千円の営業損失)、経常損失は29,822千円(前年同期は32,159千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は30,107千円(前年同期は13,445千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

報告セグメント別の業績の状況は以下のとおりであります。

① デザインパートナー事業

デザインパートナー事業は、顧客企業と当社のデザイナーが一体となりプロジェクト形式で包括的なデザインサービスを提供しております。最初に、新たな価値を創出したい顧客企業とともにプロジェクトチームを立ち上げ、プロジェクトで解決する課題を抽出します。プロジェクトが開始されると、本質的な価値の発見が行われ、顧客企業の独自の強みや特徴が明らかにされます。このフェーズでは、プロジェクトチームが顧客企業と緊密に連携し、価値の洗練と特定が行われます。次に、ユーザー中心のデザインが進行します。顧客企業のユーザーの価値観に合致するデザインが開発されます。このフェーズでは、プロジェクトチームはデザインの詳細な要件を抽出し、ユーザーフィードバックを絶えず取り入れて調整を行います。こうして生み出されたデザインは顧客企業の戦略とブランディングに統合され、企業のビジョンと目標に一貫性をもたらします。なお、アプリケーションのUI/UXデザイン開発においては、当社のエンジニアリングチームもプロジェクトに参画し、実際のデジタルプロダクトの構築を行うことがあります。これら一連のプロセスを通じて、顧客企業は既存のビジネスプロセスをデジタル化し、イノベーションを促進でき、効率性の向上や新しい価値の提供が可能となります。

近年DXが注目を集め、企業がデジタル領域において変革を求められる状況の中で、デザインの持つ役割の重要性は益々高まっております。そのような状況の中、デザインパートナー事業では、数多くのデジタルデザイン支援の知見を集約し、経験豊富なデザイナーを集め、育成することで、より多くの企業に対して、高品質なデザイン支援を行うことが可能になります。そのため、デザインパートナー事業はデザイナーの採用活動を積極的に行い、提供リソースであるデザイナー人員を拡大するとともに、より幅広い業種業態の顧客企業に対してデザイン支援を実施してまいりました。また、日本国内の正社員デザイン部門及び「Goodpatch Anywhere」における営業リードの共有に加え、プロジェクト獲得やデザイナーリソースの連携を行ってまいりました。

当第1四半期連結会計期間においては、株式会社スタジオディテイルズ及びGoodpatch Anywhereを含むプロジェクト提供を行った顧客社数(注3)は53.3社(前年同期は41.3社、前年同期比29.0%増)、月額平均顧客単価(注4)は5,603千円(前年同期は5,862千円、前年同期比4.4%減)となりました。また、社内デザイン組織のデザイナー数は、当第1四半期連結会計期間末において141名(前年同期比5.4%減)、「Goodpatch Anywhere」の所属デザイナー数は556名(前年同期比22.5%増、うち稼働デザイナー数は78名、前年同期比59.2%増)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるデザインパートナー事業の外部顧客への売上高は950,868千円(前年同期比23.6%増)、営業利益は5,833千円(前年同期は2,823千円の営業損失)となりました。

(デザインパートナー事業のKPI推移)

	2023年8月期				2024年8月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	
	実績	実績	実績	実績	実績	前年同期比
顧客社数 (社)	41.3	52.3	56.0	61.0	53.3	29.0%
月額平均顧客単価 (千円)	5,862	5,499	5,392	5,142	5,603	△4.4%

※2023年8月期より、Goodpatch Anywhereを含めた数値を記載しております。

② デザインプラットフォーム事業

デザインプラットフォーム事業は、デザインパートナー事業によって行われるUI/UXデザイン支援を様々な側面からサポートするサービスを提供しております。具体的には、自社で構築したデザイン人材プールを活用したデザイナー採用支援サービス「ReDesigner」、SaaS型のオンラインホワイトボードツール「Strap」及びデザインパートナー事業で培ったナレッジの蓄積をもとにしたプロトタイピングツール(注5)「Prott」で構成され、それぞれのシナジーを創出し、デザインに関連したビジネスの拡大を行うものとなります。

当第1四半期連結会計期間においては、「ReDesigner」は、入社決定者数が減少した結果、売上高が減少しておりますが、契約企業数は増加傾向にあり、影響は一時的なものと捉えております。また、「Strap」並びに「Prott」においては、「Prott」のリソースを有効に活用し、「Strap」の機能開発を強化するとともに、企業の研修ニーズを捉えた導入支援を経て、導入規模の拡大を図っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるデザインプラットフォーム事業の外部顧客への売上高は73,576千円（前年同期比7.3%減）、営業損失は34,141千円（前年同期は31,200千円の営業損失）となりました。

- (注) 1. デジタルトランスフォーメーション (DX) とは、Digital Transformationの略語で、企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること、を意味します。
2. UI (User Interface/ユーザーインターフェース) とは、「ユーザーがPCやスマートフォン等のデバイスとやり取りをする際の入力や表示方法などの仕組み」を意味します。また、UX (User Experience/ユーザーエクスペリエンス) は「サービスなどによって得られるユーザー体験」のことを意味します。
3. 顧客社数とは、デザインパートナー事業において、当社グループとデザインプロジェクトを進めるために契約した顧客企業の社数を指しており、1か月にデザイン支援を提供した顧客社数の当該期間の平均値を示しています。
4. 月額平均顧客単価とは、四半期ごとの売上高を顧客社数で除した数値の平均値を示しています。
5. プロトタイピングとは、最終成果物の試作品を早い段階から作り、改善を繰り返す手法のことを意味します。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて217,454千円減少し、3,582,385千円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少227,064千円、売掛金及び契約資産の減少38,398千円があったこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ7,050千円増加し、878,759千円となりました。主な要因は、償却によるのれんの減少15,866千円があった一方で、デザインパートナー投資の実行等による投資有価証券の増加17,735千円があったこと等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて210,404千円減少し、4,461,145千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ164,872千円減少し、443,627千円となりました。主な要因は、法人税等の支払いによる未払法人税等の減少79,690千円、未払金の減少51,518千円があったこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ18,779千円減少し、100,643千円となりました。主な要因は、長期借入金の返済による長期借入金の減少19,750千円等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて183,651千円減少し、544,271千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて26,752千円減少し、3,916,873千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少30,107千円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期通期の業績予想については、2023年10月13日の「2023年8月期通期決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はございません。

今後、業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,273,786	3,046,722
売掛金及び契約資産	455,680	417,282
仕掛品	11,430	6,669
前払費用	49,252	84,679
その他	9,689	27,032
流動資産合計	3,799,840	3,582,385
固定資産		
有形固定資産		
建物	68,769	75,179
減価償却累計額	△31,972	△33,207
建物(純額)	36,796	41,972
工具、器具及び備品	77,377	78,616
減価償却累計額	△67,414	△68,792
工具、器具及び備品(純額)	9,963	9,824
有形固定資産合計	46,760	51,796
無形固定資産		
商標権	1,738	1,677
のれん	476,005	460,138
顧客関連資産	61,666	59,611
その他	48	36
無形固定資産合計	539,458	521,463
投資その他の資産		
投資有価証券	145,561	163,297
敷金及び保証金	23,299	23,371
繰延税金資産	94,629	95,870
その他	22,000	22,959
投資その他の資産合計	285,490	305,499
固定資産合計	871,709	878,759
資産合計	4,671,549	4,461,145

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	71,414	70,801
1年内返済予定の長期借入金	106,488	94,784
未払金	132,915	81,397
未払費用	62,814	39,638
未払法人税等	88,952	9,261
未払消費税等	53,233	62,443
契約負債	60,988	48,634
賞与引当金	-	8,601
その他	31,693	28,064
流動負債合計	608,499	443,627
固定負債		
長期借入金	86,243	66,493
資産除去債務	11,576	11,580
繰延税金負債	21,604	22,570
固定負債合計	119,423	100,643
負債合計	727,923	544,271
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,767,520	1,768,449
資本剰余金	1,762,520	1,763,449
利益剰余金	402,659	372,552
自己株式	△110	△110
株主資本合計	3,932,589	3,904,340
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,099	△3,123
その他の包括利益累計額合計	△3,099	△3,123
新株予約権	14,135	15,657
純資産合計	3,943,626	3,916,873
負債純資産合計	4,671,549	4,461,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	848,550	1,024,444
売上原価	370,547	523,345
売上総利益	478,002	501,099
販売費及び一般管理費	512,126	529,407
営業損失(△)	△34,123	△28,307
営業外収益		
受取利息	0	70
持分法による投資利益	1,456	2,698
為替差益	-	154
その他	1,372	392
営業外収益合計	2,828	3,314
営業外費用		
支払利息	399	235
為替差損	131	-
株式交付費	75	63
投資事業組合運用損	-	4,511
その他	257	19
営業外費用合計	864	4,829
経常損失(△)	△32,159	△29,822
特別利益		
事業整理益	35,826	-
特別利益合計	35,826	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,667	△29,822
法人税、住民税及び事業税	7,102	560
法人税等調整額	10,010	△275
法人税等合計	17,113	284
四半期純損失(△)	△13,445	△30,107
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,445	△30,107

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
四半期純損失(△)	△13,445	△30,107
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△533	△24
その他の包括利益合計	△533	△24
四半期包括利益	△13,979	△30,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,979	△30,131
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2022年9月1日至2022年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	デザイン パートナー事業				デザイン プラットフォーム 事業	計		
	日本国内	Goodpatch Anywhere	ヨーロッパ (ドイツ)	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	589,906	146,252	33,115	769,274	79,276	848,550	—	
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	99	99	△99	
計	589,906	146,252	33,115	769,274	79,376	848,650	△99	
セグメント利益 又は損失(△)	9,362	17,251	△29,436	△2,823	△31,200	△34,023	△99	

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自2023年9月1日至2023年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	デザイン パートナー事業				デザイン プラットフォーム 事業	計		
	日本国内	Goodpatch Anywhere	ヨーロッパ (ドイツ)	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	668,519	282,349	—	950,868	73,576	1,024,444	—	
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	
計	668,519	282,349	—	950,868	73,576	1,024,444	—	
セグメント利益 又は損失(△)	△29,177	37,096	△2,084	5,833	△34,141	△28,307	—	

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2024年1月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議しました。

1. 自己株式の取得を行う理由

当社株式の市場価格及び財務状況等を総合的に勘案し、資本効率の向上を通じた株主利益の向上、M&Aにおける活用を含めた将来の機動的な資本政策の遂行を可能とすること等を目的として、自己株式の取得を行うものであります。

2. 取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類 | 普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 200,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.18%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 100,000,000円(上限) |
| (4) 取得期間 | 2024年1月15日～2024年4月12日 |
| (5) 取得の方法 | 東京証券取引所における市場買付 |